

病害虫情報 No. 7

いもち病の発生に注意し、発病状況に応じた防除を行ってください！

[現在の状況]

- 1 7月上旬現在、葉いもちの発生地点率および発病度はやや高い。県北地域の発生地点率および発病度は平年並であるが、発病度の高いほ場もみられる。鹿行・県南・県西地域では発生地点率および発病度はやや高い～高い。
- 2 今後降雨が続くと、再び感染・発病の拡大が懸念される。
- 3 葉いもちの発生が多く、出穂期に降雨があると、穂いもちへの移行が懸念される。

表1 調査地点における葉いもちの発生状況(7月上旬調査)

| 地域 (調査地点数) | 発生地点率(%) | | | 発病度 | | | 発病株率(%) | | 発生程度別地点数 | | | | |
|---------------|----------|----|------|------|------|------|---------|------|----------|---|---|----|----|
| | 本年 | 平年 | 順位 | 本年 | 平年 | 順位 | 本年 | 平年 | 甚 | 多 | 中 | 少 | 無 |
| 県北 (28) | 71 | 66 | 5/11 | 10.1 | 8.5 | 4/11 | | | 0 | 1 | 4 | 15 | 8 |
| 鹿行 (6) | 83 | 36 | 1/11 | 6.2 | 2.6 | 2/11 | | | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 |
| 県南 (19) | 79 | 27 | 1/11 | 6.6 | 1.6 | 1/11 | | | 0 | 0 | 4 | 11 | 4 |
| 県西 (12) | 33 | 14 | 2/11 | 5.0 | 0.8 | 1/11 | | | 0 | 0 | 1 | 3 | 8 |
| 全県 (65) | 68 | 41 | 2/10 | 8.4 | 4.3 | 2/10 | | | 0 | 1 | 9 | 34 | 21 |
| 県予察ほ 標肥区 | | | | 1.5 | 3.8 | | 6.0 | 9.7 | | | | | |
| 多肥区 | | | | 6.0 | 11.5 | | 24.0 | 25.3 | | | | | |

発生程度：各調査ほ場の発病度を区分して集計したもの

順位：5/11とあるのは、本年を含む過去11年中、本年は第5位であることを示す

県予察ほ：農業研究所(水戸市上国井町)

[防除対策]

- 1 窒素過多はいもち病の発生を助長するため、穂肥は適正に実施する。
- 2 葉いもちの発生が多い水田では、防除が必要である。上位葉に発病が進展しているほ場では防除を徹底する。穂いもちを対象とした薬剤防除の適期は、穂ばらみ末期～穂揃期である。表2を参考に、発生状況に応じた防除を行う。
- 3 防除薬剤は表3を参考にする。粒剤を使用する場合には、出穂前に施用し、止水期間後は適正な水管理を行う。
- 4 今後の天候の推移によって、いもち病の発生状況は大きく変化する。引き続きほ場を良く観察する。いもち病菌がイネの穂に侵入しやすいのは、出穂14日後位までである。この期間に降雨が続く場合は、発生に注意が必要である。

表2 穂いもち防除の例

| 葉いもちの発生状況 | 出穂後の 天気予想 | 対応(丸数字は防除回数) | 穂いもち 被害危険度 のめやす |
|--|--------------|---|-----------------------|
| 無～少 発生は認められない か、下葉にわずかに 認められる程度 | 晴天 | 防除の必要なし | ごく低い |
| | 降雨 | 降雨が続きそうな場合は、 穂ばらみ末期～穂揃期に乳、液剤を散 布、または出穂一週間前までに粒剤施用 | 低い |
| 中 下葉に多く病斑があ るが、上位葉にはほ とんど認められない | 晴天 | 穂ばらみ末期～穂揃期に乳、液剤を散 布、または出穂一週間前までに粒剤施用 | 中 |
| | 降雨 | 穂ばらみ末期～穂揃期に乳、液剤を散 布、または出穂一週間前までに粒剤施用 | やや高い ～高い |
| 多 下葉に多くの病斑が あり、上位葉にも進 展している | 晴天 | 穂ばらみ末期～穂揃期に乳、液剤を散 布、または出穂一週間前までに粒剤施用 | 高い |
| | 降雨 | 穂ばらみ末期に乳、液剤を散布、または 出穂一週間前までに粒剤施用 穂揃期に乳、液剤を散布 | 非常に高 い(2回防 除) |

表3 イネいもち病に登録のある主な薬剤(平成21年7月2日現在)

| 薬剤名 | 希釈倍数または 使用量 | 収穫前日数 または使用時期 | 本剤の 使用回数 | 有効成分 - 有効成分の 総使用回数 |
|-------------|-------------------------------|-----------------------------|----------------|---------------------------------|
| 葉いもち及び穂いもち | | | | |
| オリブライト 250G | 250g/10a | 収穫 45 日前まで | 1 | メニストロピン-1 |
| アミスターエイト | 1,000～1,500 倍 | 収穫 14 日前まで | 3 | アゾキシストロピン-4(育苗箱1, 本田3) |
| フジワン乳剤 | 1,000 倍 | 収穫 45 日前まで | 1 | イプロキサゾール-2(床土, 育苗 箱合計1, 本田1) |
| ヒノザン乳剤 30 | 1,000 倍 | 収穫 21 日前まで | 3 | EDDP-3 |
| ラブサイドフロアブル | 1,000～1,500 倍 | 収穫 7 日前まで | 6(穂ばら み以降4) | フサライド-6(穂ばらみ以降4) |
| ブラシンフロアブル | 1,000 倍 | 収穫 21 日前まで | 2 | フェリムゾン-2, フサライド-6(穂ばらみ以降4) |
| 穂いもち | | | | |
| アチーブ粒剤7 | 3～4kg/10a | 出穂 30～5 日前 (収穫 21 日前まで) | 3 | フェキサニル-3 |
| 嵐粒剤 | 2～3kg/10a | 出穂 25～5 日前 (収穫 21 日前まで) | 1 | オキサストロピン-2(移植前1, 本 田1) |
| キタジンP粒剤 | 3～5kg/10a | 出穂 20～7 日前 | 2 | IBP-3(粒剤は2) |
| コラトップ粒剤5 | 3～4kg/10a | 出穂 30～5 日前 | 2 | ピロキロン-3(育苗箱1, 本田2) |
| コラトップジャンボ | 小包装 10～13 個 (500～650g)/10a | 出穂 30 日前 ～5 日前 | 2 | ピロキロン-3(育苗箱1, 本田2) |
| フジワン粒剤 | 3～5kg/10a | 出穂 30～10 日前 (収穫 30 日前まで) | 1 | イプロキサゾール-2(床土, 育苗 箱合計1, 本田1) |